

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石 孝子
	全体計画						経費区分		-		内線	246-2104
事務事業名	4276 学校給食センター管理事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費										
	事業	020000 学校給食センター管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
安全でおいしく、ていねいに真心のこもった学校給食を提供するとともに、学校給食をとおして児童生徒の食育推進を図る。						「須坂市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携をはかり、児童生徒への食育を計画的に進める。 また地域食材の活用や行事献立等をとおして、地域や食文化などを知る機会とする。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施した。	栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施した。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施する。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	学校給食県産農産物利用状況調査				
算式	県内産食品数÷全食品数×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	45	45		
	実績	74			
指標選定の理由	学校給食における県内産農産物利用率（全県・食材数ベース） 長野県食育推進計画における達成目標値				
最終年度 目標の根拠	県の食育推進計画による				
指標名	地産地消の推進				
算式	野菜・果物 市内産購入量（kg）÷全体購入量（kg）×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	16.1	13.2		
	実績	13.2			
指標選定の理由	市内産農産物を学校給食で出来るだけ多く利用する				
最終年度 目標の根拠	前年度以上を目標としたい				
指標名					
算式					単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		437,845	428,228
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	264,302	259,906
一般財源		173,543	168,322
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.9	0.9
人員 コスト	正規職員	4,331.4	3,609.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1,028.7	1,028.7
	計	5,360.1	4,638.2
市民一人当たりの経費		8.5	8.3
総額		443,205.1	432,866.2

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	76	衛生管理講習講師謝礼
11節 需用費	308,913	賄材料費 他
13節 委託費	109,407	警備補償委託、配送業務委託、調理業務委託、生ごみ処理委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	52	県栄養士部会負担金15千円、廃油用油処理団体負担金36千円
その他	19,397	機器賃借料ほか

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	109,778	警備保障委託、配送業務委託、調理業務等委託、生ごみ処理委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	52	県栄養士部会負担金16円、廃油用油処理団体負担金36千円
その他	318,398	機器賃借料ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	児童生徒のために必要な事業	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	気候に左右されることもあるが、最低限のことはできている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	施設の老朽化による非効率を極力抑えることができた	

振り返り（決算年度の取組み課題）
老朽化の著しい施設ではあるが、適切に管理できた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設の残りの期間を見据えながら、安全な給食が提供できるよう適切な運営に努める。		老朽化した現行施設を適切に維持管理しながら、安心・安全な学校給食の提供を継続することは必須。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	